

2025 年 10 月 8 日
那覇エリア MICE 推進連絡会

那覇エリア MICE ブランド構想

ここに掲げる「那覇エリア MICE ブランド構想」は、国内外で激化する MICE 誘致競争の中で、那覇エリアを他の開催地と差別化し、唯一無二の価値を提案できる MICE 開催地になることを目指すものである。

2024（令和 6）年に策定された「那覇市都市型 MICE 振興戦略」は、MICE 振興を通じて経済振興・街づくりの両面で効果を生み出すことを基本的な考え方とし、「受入体制整備 / 那覇ならではの価値の提供 / ターゲットを見据えた誘致」の 3 つの取組の柱を中心に、4 つの具体的な戦略で構成される。

しかし、那覇市が持つ強みどのように捉えるか、また MICE 主催者へどのように訴求するかについて、これまで十分に明確化されてこなかった。その結果、開催地としての魅力を効果的に伝えるには至らず、一貫した取り組みが必要とされる状況である。

本構想では、同戦略の 3 つの取組の柱を基盤とし、MICE ブランド戦略として特に強化すべき施策を整理した。那覇エリア MICE 推進連絡会は、この構想を通じて、那覇の魅力を具体的な価値に変換し、MICE 主催者に対して明確なメッセージとして訴求するための提言をまとめた。

那覇市には、この「那覇エリア MICE ブランド構想」に示された「那覇 MICE ブランド」の実現に向けて、総合的かつ計画的な施策運営を推進することが求められている。また、那覇市だけではなく、那覇エリア MICE 推進連絡会をはじめとする那覇の MICE に関わるすべての人や組織が、この構想を共有し、連携して取り組むことが期待されている。

関係者が結束し、互いの強みを活かしながら一体となった取り組みを進めることで、那覇エリアの魅力を最大限に発信し、国内外の主催者や参加者から搖るぎない信頼を得る開催地としての地位を確立することが期待される。さらに、那覇が持続可能で競争力のある MICE 開催地となり、地域の経済や文化のさらなる発展を後押ししていく未来を目指すものである。

1. 上位戦略との位置づけ

戦略	内容	那覇市との関係
沖縄 MICE ブランド	沖縄が MICE 主催者に提供する価値について全国・世界に発信し、MICE 誘致を県全体で牽引するブランド戦略。自然・文化・ホスピタリティ等を県全体で磨いていく。 おきなわ MICE ナビ	那覇市は沖縄県の玄関口、中心都市（県都）として、このブランドを具現化するコア地区のひとつであり、沖縄 MICE ブランドの価値を体現・増幅する役割を担う。
沖縄 MICE 振興戦略	世界水準のリゾート環境と独自の歴史・文化を活かし、国際会議・展示会・インセンティブ旅行等を積極的に誘致する取組で、地域経済の活性化や国際交流拠点としての地位確立を目指し策定済み。 沖縄県公式ホームページ	那覇市は高度な都市機能を有する県内外の交流拠点であるとともに、歴史・文化・ビジネスの中心地として沖縄 MICE 振興戦略における地域戦略の中心的役割を担っている。
那覇市都市型 MICE 振興戦略	那覇市が自らの強み（交通利便性・コンパクト性・施設集積・文化・歴史資源など）を活かして、都市型 MICE の受入体制強化、誘致・開催支援、地域資源の磨き上げ、プロモーション等の戦略を策定済。 那覇市公式サイト	本構想案は、この振興戦略の具現化を補強・深化させ、ブランド力強化と主催者に提供する価値をより明確に打ち出することで、誘致競争力を高めることを目的とする。

2. ブランド戦略の目的

那覇市を MICE 開催地として選定させるため、以下の目的を中心に据える：

(1) 差別化と独自性の強化

那覇ならではの文化・歴史・自然体験をブランドコアとして据え、参加者・主催者が「他では得られない体験」を期待できる都市にする。

(2) 誘致力・集客力の向上

交通アクセス・都市機能・宿泊・飲食等、主催者が重視する物理的・運営的な要件を満たすことを明示し、国内外からの誘致を強める。

(3) 持続可能性と共創による地域と産業の活性化

地域資源（文化・自然・景観・産業）を磨き、産学官民の共創を伴う MICE の開催を通じて地域で稼ぐ仕組みを構築し、地域経済・文化・暮らしに長期的な良い効果を創出し続ける。

(4) ブランド認知・発信力の強化

国内外に那覇 MICE というブランドを確立し、プロモーション・PR・デジタル施策等により知名度・好感度を向上させる。

3. ブランド核（Brand Core）と価値の提案

那覇エリア MICE ブランドを象徴する 3 つの柱と、それに伴う価値の提案：

ブランド核	主な資源・強み	主催者に提供する価値（体験・成果）
文化 X 歴史のアイコン性	琉球王国の歴史・世界遺産（首里城・識名園）、伝統芸能・工芸・食文化	開催イベントに格調・特別感を加え、参加者の満足度と記憶に残る体験を提供。主催組織・イベントの差別化とブランド価値を向上。
自然 X アーバンの融合体験	市街地近接ビーチ、離島アクセス、都市と公園・自然景観共存、温暖な気候	オンオフ切替リラックス効果・交流要素を織り込みやすく、参加者のストレス軽減・満足度アップを促進。オフサイト・アフターMICE の魅力強化。
交通利便性と都市基盤の多機能拠点性	空港・港・モノレールなど交通結節性、コンパクトシティ、会場・宿泊・飲食施設の密集	運営コスト（コスパ）・移動時間（タイパ）を削減でき、主催者・参加者にとっての利便性が高い。アクセス障壁の低さと都市機能による誘致力強化。

本項の詳細、並びに、エビデンスは、2025 年 8 月 25 日に開催した「那覇エリア MICE 推進連絡会 第 1 回ワークショップ」におけるアウトプット資料「那覇エリア MICE ブランドのブランドエッセンス抽出シート」に記載の通り。

4. 戦略の柱と主な施策

那覇市都市型 MICE 振興戦略に掲げられている「受入体制整備 / 那覇ならではの価値の提供 / ターゲットを見据えた誘致」を具現化するブランド戦略として特に強化すべき施策を以下に整理：

戦略カテゴリ 1：ブランド設計と統一イメージの確率

＜強化施策案＞

- 「沖縄 MICE ブランド」ロゴ・ビジュアルアイデンティティ採用(沖縄 MICE ブランドとの調和を体現)
- 「沖縄 MICE ブランド」タグラインに併用する親和性のある那覇ブランドメッセージ(サブタグライン・ブランドストーリー等)を策定(ブランド構築事業)
- コアコンセプトの外部(国内外主催者等)への浸透施策(デジタルマーケティング、SNS、WEB、映像、パンフレット等)の実行(ブランド広報事業)

戦略カテゴリ 2：コンテンツと体験価値の磨き上げ

＜強化施策案＞

- MICE 誘致・開催支援メニュー施策との連携
- ユニークメニュー(歴史的建造物、工芸工房、ビーチ／離島ロケーションなど)の開発・改良
- 文化・伝統・食の体験パッケージ化(例:舞踊+工芸+泡盛・食材ツアー)
- 環境・自然体験のプログラム化(ビーチアクティビティ、離島エコツアー)

戦略カテゴリ 3：受入体制とインフラの強化

＜強化施策案＞

- 会場・宿泊・飲食・交通など関係者の更なるネットワーク化と品質標準化
- デジタルツール・AI ツールの導入: アクセス・案内・移動などで利便性を高め受入体制をサポートする機能の充実
- イベント開催時の都市運営サポート(交通、誘導、案内サイン等)の仕組みづくり

戦略カテゴリ 4：誘致・マーケティング戦略

＜強化施策案＞

- 国内外のターゲットマーケットを明確にし、それぞれへの提案パッケージを整備
- 国内外へのプロモーション(MICE 商談会・展示会への出展・オンラインプロモーション)の実践
- 主催者インスペクション招待支援の制度づくり
- ブランドストーリーの発信(文化・自然・歴史・アクセス性などストーリーテリング)

戦略カテゴリ 5：持続可能性・地域共創の仕組化

＜強化施策案＞

- 地域住民・文化団体との協働による文化イベントや交流プログラムの開発・実装
- 環境配慮(エコマテリアルの利活用、エネルギー効率の向上、自然・環境への影響低減など)を MICE 開催に組み込むガイドラインの利活用(沖縄 MICE 開催におけるサステナビリティガイドラインの普及・活用促進)で体現
- 地元事業者の参画を促す仕組み(ワークショップ・ネットワーク構築・先進事例視察・営業プロモーション活動支援)の構築と展開